

令和元年度  
教育委員会の事務に関する点検・評価報告書  
《平成 30 年度実施事業》



天草市教育委員会

## はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成することとなっています。

本報告書は、効果的な教育行政を推進するとともに、市民への説明責任を果たしていくため、平成30年度の本市教育委員会の所管事務について、点検及び評価を行い、学識経験者の意見を付して報告するものです。

### <参考>

#### ◎地方教育行政の組織及び運営に関する法律（平成27年4月1日改正）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

# 目 次

I 点検及び評価に関する要領	1P
1 趣 旨	
2 点検評価の対象	
3 点検評価の方法	
4 点検評価員の委嘱	
5 点検評価の手順	
6 点検評価調書の作成	
II 教育委員会の活動状況について	4P
1 教育委員会会議	
2 教育委員の主な活動	
3 附属機関の状況	
4 教育委員会の情報発信	
III 外部点検評価	7P
1 点検評価員	
2 会議	
3 点検評価員の主な意見	
IV 点検評価調書	
1 令和元年度点検評価事業一覧	13P
2 点検評価調書	15P

## I 点検及び評価に関する要領

### 1 趣旨

この報告書は、平成30年度における天草市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(以下「地教行法」という。)第26条第1項の規定に基づき、点検及び評価を行う。

### 2 点検評価の対象

点検評価の対象は、地教行法第21条に「教育委員会の職務権限」として規定されている事務のうち、「第2次天草市総合計画」や「第2次天草市教育振興基本計画」を推進するため取り組んだ主な事業を対象として実施しました。

### 3 点検評価の方法

#### (1) 内部評価

対象とした施策ごとの主な事業について、その目的、平成30年度の実績内容等を示し、その結果を踏まえて、所管課としての評価及び課題・今後の方向性を記載しました。

#### (2) 外部評価

点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方々の意見を聴取する機会を設け、様々な意見、助言をいただきました。

### 4 点検評価員の委嘱

(1)点検評価員の法的根拠 地教行法第26条第2項

(2)点検評価員の数 2人

(3)資格 教育に関し学識経験を有する方で、性別・年齢は問わない。

(4)任期 2年(再任を妨げない)

(5)報酬等 報酬・費用弁償については、天草市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の規定による。

### 5 点検評価の手順

点検評価は、次の順により行う。

#### ①内部評価

事務局各課がその所管する事務事業等について、評価を行う。

#### ②外部評価

上記①の内部評価の結果をもとに、点検評価員の意見を聴取する。

#### ③最終評価

上記①及び②の外部評価の結果を踏まえ、教育委員会が最終的な評価を行う。

#### ④議会への報告

教育委員会は、「点検及び評価報告書」を市議会に提出する。

## ⑤公表

教育委員会は、「点検及び評価報告書」を教育委員会ホームページに掲載し市民に公表する。

## 6 点検評価調書の作成

### (1) 「事業名」欄

平成30年度に実施した事務事業名を記載する。

### (2) 「第2次総合計画施策体系区分」欄

事務事業の上位施策となる第2次総合計画における施策を記載する。

### (3) 「政策(基本方針)」欄及び「施策計画」欄

「第2次天草市教育振興基本計画」の「政策(基本方針)及び施策計画」を記載する。

### (4) 「目的・内容」欄

実施した事務事業の目的及び内容を記載する。

### (5) 「取組実績」欄

平成30年度における取組実績について記載する。

### (6) その他

平成30年度の「決算額」、評価の「指標名」及びその指標の「目標値」・「実績値」を記載する。

### (7) 「評価」欄

#### ① 評価項目

評価は、次の項目について行う。

##### ○「成果・自己評価」欄

平成30年度に実施した事業について、成果及び自己評価を行う。

##### ○「課題」欄

平成30年度に実施した事業における課題を記載する。

##### ○「方向性」欄

成果・自己評価及び課題に基づき、今後の方向性を具体的に記載する。

#### ② 評点

評価は、次の評点により行う。

##### ○「上位の施策(目標)への貢献」欄

4:大いに貢献できた 3:貢献できた 2:少し貢献できなかった 1:ほとんど貢献できなかった

##### ○「市関与の必要性」欄

4:関与の必要性が高い 3:関与の必要性がやや高い 2:関与の必要性はやや低い 1:関与の必要性は低い

##### ○「達成状況」欄

4:達成できた 3:だいたい達成できた 2:あまり達成できなかった 1:達成できなかった

(8) 総合評価(方向性)

(7)の評価を踏まえ、総合的な評価を行い、今後の取組みの方向性を、次の区分により記載する。

- 廃止:平成30年度で事務事業を廃止する
- 終了:設定した終期の到来又は事業目的の達成により事務事業を終了する
- 縮小:事業内容、事業量等を縮小して事務事業を継続する
- 見直して継続:他の事務事業との統合や内容を見直して継続する、又は新たに終期を設定して継続する
- 継続:現行の内容で事務事業を継続する
- 拡充:事業内容、事業量等を現行よりも拡充して事務事業を継続する

## II 教育委員会の活動状況

### 1 教育委員選任状況

《委員名簿》

平成31年3月31日現在

役職名	氏名	任期
教育長	石井 二三男	H30.7.1～R3.6.30
委員 (教育長職務代理者)	花里 昌直	H27.7.1～R元.6.30
委員	黒鶴 進治	H29.7.1～R3.6.30
委員	行合 八恵子	H28.7.1～R2.6.30
委員	木下 えり子	H30.7.1～R4.6.30
委員	蓑田 えり	H28.7.1～R2.6.30

※教育長の任期は3年 ※委員の任期は4年

### 2 教育委員会会議

会議は原則公開で行い、毎月1回の定例会のほか、必要に応じて臨時会を開催し、教育行政の実施に関する事項等の審議を行います。平成30年度においては、定例会を12回、臨時会を4回開催し、議案47件の審議、協議報告27件について審議しました。

市民への積極的な情報提供を行うため、会議を傍聴できることや、会議の日時、場所のホームページへの掲載などを引き続き行います。

また、教育委員会定例会及び臨時会の会議録をホームページで公開しています。

### 3 教育委員の主な活動状況

#### (1) 学校訪問

市内の幼稚園や小・中学校を訪問し、教育課程、学習指導、生徒指導その他専門的事項について指導・助言等を行うとともに、その学校の取組みや抱えている課題の把握に努めました。これに、教育委員も参加し、校長との意見交換や授業・施設の視察等を行いました。

学校訪問の状況

区分	対象	期日	教育委員の出席状況
幼稚園訪問	3園	平成30年1月23日～平成30年1月24日	延べ 5人
小学校訪問	17校	平成30年7月3日～平成30年11月26日	延べ 34人
中学校訪問	13校	平成30年9月26日～平成30年11月7日	延べ 20人

## (2) 研修会への参加

教育委員会では、教育委員会関係団体の行事や研修会に参加し、情報交換や研さんに努めています。平成31年1月15日には、熊本県市町村教育委員研修大会に4名の教育委員（教育長含む）が出席しました。

## (3) その他の主な会議や行事

会議・行事名等	期 日	教育委員の出席状況
服務宣誓式	平成30年 4月 3日	6人
入学式・入園式	平成30年 4月	延べ15人
成人式(10地区)	平成30年 8月、31年 1月	延べ14人
研究発表会(小中学校研究指定校8回)	平成30年10月～平成31年 2月	延べ35人
社会を明るくする運動推進大会 青少年育成健全大会	平成30年 7月 7日	5人
読書イベント	平成30年10月 7日	1人
教育力活性化推進大会	平成31年 2月 2日	6人
卒業式・卒園式	平成31年 3月	延べ15人
退職者感謝状贈呈式	平成31年 3月27日	5人

## 3 附属機関の状況

政策等を立案するに当たり、専門的な判断を要する事案等について、各関係者の意見を広く聴取し、様々な角度から議論を行うため、附属機関を設置しています。審議会等の開催状況は次のとおりです。

審議会等の名称	開催回数	主な審議案件
天草市奨学生選考委員会	1回	奨学生の選考
天草市就学指導委員会	2回	心身に障害のある児童及び生徒に対する就学指導
天草市いじめ防止対策審議会	2回	本市のいじめ問題に係る現状報告、いじめ事案に関する審議
天草市いじめ問題対策連絡協議会	1回	本市のいじめ問題に係る現状報告 いじめ問題に係る情報交換・意見交換
天草市立学校給食センター運営委員会 (各センターごとに設置)	各2回	給食費の決定、給食日数、納入業者の承認、管理運営
天草市社会教育委員会議	2回	事業報告、事業計画、生涯学習推進指針、複合施設の建設
天草市立図書館協議会	2回	事業報告、事業計画、複合施設の建設
天草市勤労青少年ホーム運営委員会	2回	事業報告、事業計画、複合施設の建設

#### 4 教育委員会の情報発信

教育に関する制度や手続等の周知を図るとともに、教育委員会の取組みに関心を持っていただくため、ホームページにおいて市民へ様々な情報を提供しています。

平成30年度においては、教育委員会が主催する大会等の行事について、「市政だより天草」に随時掲載し周知に努めました。また、教育委員会定例会及び臨時会の開催日時、会議録、教育の現状及び課題、施策等についてもホームページで情報の提供を行っています。

### Ⅲ 外部点検評価

#### 1 点検評価員

(50音順・敬称略)

氏 名	所 属 等
澤田 道夫	熊本県立大学総合管理学部教授
松本 由香里	元天草市教育委員

#### 2 会 議

第1回点検評価員会議

・ 令和元年7月16日(火) 天草市役所 第1会議室

第2回点検評価員会議

・ 令和元年10月18日(金) 天草市役所 第3会議室

#### 3 点検評価員の主な意見

##### ①教育総務課所管事業

◎離島高校生修学支援補助金について、申請に対して支給漏れがないようにお願いします。

◎姉妹都市教育交流事業について、天草市全体としての国際交流、子どもたちの国際教育の話があったが、良い事業であるので派遣する生徒数を増やすことができるのであれば、エンシニータス市と協議し派遣生徒数を増やしていただきたい。また、お互いの求めている視点がずれてしまえば事業効果が薄れてしまうので、意見交換は十分していただきたい。エンシニータス市からの訪問時には、せっかくの機会であるので、訪問する学校を固定せず、いろいろな学校で交流をしていただきたい。

◎小・中学校統合推進事業については、今後も学習環境の適正化に尽力いただきたい。

##### ②学校教育課所管事業

◎学習指導補助教員設置事業について、要望数はもっとあるのではないかと考える。学校からの要望だけでなく保護者からの要望もあるのではないかと。配置基準が定められているのであれば、基準に則った配置をお願いしたい。

◎読書活動支援事業については、司書の人材確保は、非常勤職員という勤務体制のため希望者が少ないのではないかと。人材確保が難しいのであれば、退職した教員にお願いするなどの対応が必要であるのではないかと。

◎グローバル人材育成事業について、日程調整ができるのであれば、地域行事に参加してもらうことを考えて良いのではないかと。京都大学経営大学院の留学生も天草に来るメリットがなければ、だんだんと来なくなる。留学生から意見を聴取してそれを反映する必要がある。他部署所管にも関係するものは、連携してより良いものにしていただきたい。

◎総合的な学習活動支援事業について、世界遺産である崎津集落に天草の住民が訪れる機会は案外少ないように思う。子どもの時に訪れ、どうして世界遺産に認定されたのかを知ることは重要である。

◎心の教室相談室事業について、放課後の方が相談しやすい生徒もいるのではないかと。相

談件数が昨年度の倍近くになっているが、1日4時間で十分なのか。相談件数が多いが、なぜ多いのか内容を分析する必要があるのではないかと。

◎天草市特別支援教育総合推進事業について、子どもに関係する事業において目標値を設定することは難しい。相談件数が多い方が良いわけではない。相談に対して支援ができていけるかが大切である。昨年度は事業内容も充実され対応もしっかりされている。

◎教育相談事業について、作業療法士への相談が多いとのことだが、課題として増員を検討する必要はないのか。就学前に遊びながら訓練する場所が必要だと思っているので検討していただきたい。発達障がいの子どもの持つ保護者は悩みを抱えており、子どもも含めて保護者のケアもできるようになることを望む。

◎市指定教育研究推進校補助金について、小中学校の両者の意思疎通、連携あるいは小学校同士の横の連携に繋がると良いのではないかと。良い取り組みであるので、発表する場を設けて取り組みを広げていただきたい。研究発表をするということは先生にも子どもたちにとっても向上するビッグチャンスである。ぜひとも伸ばしたい学校があると思うので、その学校には教育委員会から指定するという事も考えなければならない。天草市の全体的なレベルを上げるためには学校から手を上げるのを待つのではなく、教育委員会からアプローチする必要もあるのではないかと。

◎コミュニティスクールの推進に向けた取組みについて、いろいろな会があるが、内容は同じようなことを行っている。保護者等もこの事業について、良く分かっていないのではないかと。今までとどう違うのか、説明を行う必要があるのではないかと。

◎小中学校ICT整備事業について、校務支援システムは使う人が使い勝手の良いシステムでなければならない。使う人のことを考えて導入していただきたい。また、未来への投資ということで、思い切った事業を実施していただきたい。

◎スクールバス運行事業について、契約が満了し、次の契約締結後5年間は粛々とやっていくことであれば、特段運用等で問題がなければ毎年評価をする必要はない。また、運用に問題が出てきたとき、あるいは契約更新の時で構わないと考える。ドライバーの健康状態のチェック、児童生徒の乗降時の管理をしっかりしていただきたい。

### ③生涯学習課所管事業

◎家庭教育支援事業について、目的に家庭教育の再生と記載されている。今まで家庭教育でやってきたことの見直しが必要であるから、いろいろな教育をしていきたいということであると思う。昨年度も天草市の家庭教育が求める様々な事業が実施されており、講座数は増えている。しかし参加者数が増えないというのは、マンネリ化しているのではないかと考える。天草市が家庭教育に求めているものと受講者が求めているものに微妙な差があり、本当に保護者が求めているものを提供できていないかもしれない。今後、見直しをされると思うが、家庭教育の再生について天草市はどのようなことにポイントを置いているのかははっきりしない。最終的には子どもの自立が家庭教育の一番の目的だと言われている。新しい情報を早く正確に伝えていくことや、本当に必要な人に参加してもらう内容になるようお願いする。

◎成人式について、非常に参加率も高く問題もないと思う。現在、各支所で実施しているが、

大丈夫であるか、検証する必要があるのではないかと考える。成人者が司会、運営をしており、自分たちの成人式というのが出来上がってきているのは素晴らしいことである。できるのであればこのまま継続していただきたい。また、成人式の際にふるさと納税など、天草をバックアップしてもらうのにはいい機会である。

◎**移動図書館事業**について、移動図書館車が有効活用されるには、ただ行けば良いのではなく地元の受け入れ態勢が重要である。公民館長や自治会長の方々と連携して、移動図書館車が来る日を周知してもらうなど受け入れ側との協働が必要である。利用者数が減少しているのは周知方法に問題があるかもしれない。日時は周知されているが、移動図書館車が来たことをどう知らせるのかも考えていただきたい。お薦めの本のアドバイスなどサービスの工夫をしなければ利用者は増加しないのではないかと。どのような工夫で実績値が上がったのかを記載していただくと評価しやすいと思う。

◎**読書活動推進事業**について、行くところがない時に図書館に行こうというような場所になって欲しい。そのためには、魅力ある図書館でなければならない。現在の事業の継続はもちろん、例えば行けばいつも決まった時間には読み聞かせが行われており、子どもが読み聞かせを聞いている間にお母さんは自分の本を選べる図書館などいかがだろう。来館者が本を選ぶとき、司書が今まで以上にアドバイスするなどの関りを持ち、素晴らしい本と出会えるように魅力ある図書を目指していただきたい。

◎**生涯学習推進事業**について、講座回数、参加者延人数も目標値に達していない。実績値が限界値ではないか。目標値に到達できないのであれば、目標値の変更も考えなければならない。講座の開催回数も多いので、現場の人も何を提供すれば良いのか悩むのではないかと。目的をより明確にすることが効果的である。公民館活動で難しいのは目的がぶれてしまうと魅力がなくなり人が集まらない。情報を公開し、目的意識をより集中したものが提供できるものにすると人が集まる。人集めは重要である。人を集めるための努力、PR方法等を検討していただきたい。

◎**勤労青少年ホーム事業**について、毎年指摘しているが、勤労青少年という言葉が今時馴染がなく、イメージがわからない。複合施設ができるということであるので移行期間であるのかと思うが、複合施設に統合した後もこの事業として単独で行うのか、今後も継続していくのか、ホーム自体が無くなるのであれば、事業の廃止又は統合を含めて考えていかなければならない。事業を残すにしても事業名は変更されるのではないかと考える。現状を考えるとこの事業は目的を終えたのではなかと考える。時代が変わり、どこに目的を持っていくのか非常に難しい。人を集めるのも難しく、違う事業と統合も考えなければいけない。

◎**社会を明るくする運動・教育力活性化推進事業**について、子どもたちも一緒に参加できるものになると参加者数も増え、良いものになるのではないかと。

◎**放課後子ども教室**について、子育て支援課が実施している放課後児童クラブと類似事業であるのであれば今後どの様にするのか、これからの在り方について検討する必要がある。保護者のニーズがどこにあるのかも検討する必要がある。子育て支援課が実施している放課後児童クラブとの違いが分かりにくい。小学校部活動が社会体育に移行し、子どもたちはどこかで放課後を過ごしているのか調査を行ったのか。塾に行くなどしている子どもが多いのであれ

ば、この事業が本当に必要であるのか評価することができる。

◎**青少年健全育成事業**について、この事業は団体からの申請があり、補助する事業である。達成状況が天草市のやり方に直接影響するとは思わないが、4年間一度も目標を達成できていない。それにも関わらず方向性は継続とされている。様子を見守っていれば変わるところがあるのかなと毎年見ていて疑問に思うところもある。来年度は頑張りますということで継続というところであるが、別にそれが改善されるわけでもないため、継続で良いのかと思うところもある。補助金を支出するだけの事業であり、出来るだけ多くの団体に活用してもらいたいと考えるならば、事業費が10万円以上でなければ対象とならないなど条件があるが、限度額の15万は良いとしても、事業費が10万円以上となっている基準を見直す必要があるのではないかな。

#### ④学校給食課所管事業

◎**地産地消の推進**について、子どもたちに天草産の食材に興味を持たせるために出前講座等を行っていることは良いことである。給食だよりに農協・漁協・市の農林水産関係部署とコラボし、豆知識等を書いてもらうのも面白い試みになると思う。すごく努力をされており、子どもたちの給食に対する評価も高い。学校栄養士の学校給食だよりや食育の話も、地域のことをよく考えてされている。限られた給食費で、例えば地域で作られていない食材の価格が地産地消のネックになっているとするならば、努力されているので達成状況は4でも良いのではないかな。地産地消の推進は学校給食だけではなく、家庭との繋がりが大きい。保護者にも食育の一環として買い物の際は天草産を買ってもらうような方向にもっていき、それを地産地消の評価に実現されたなら記載しても良いのではないかな。今は予算内での評価であるが、いろいろな方向から見るともう少し評価が高くて良い。

◎**学校給食施設整備事業**について、学校給食センター整備計画に則って年度計画に基づき更新されている。施設の更新が計画的になされているのであればコメントすることはない。

## 4 総合評価

澤田道夫委員

### ●教育総務課所管事業

施設系の事業はハード面の整備である。統合事業については終了、教育環境については空調関係を含めて進められている。統合された小中学校を使用して、その次のステージの天草市の教育が始まることになる。子どもたちのきちんとした学習環境を整備していただくということで引き続きよろしく願います。また、離島高校生修学支援事業についても、制度を変更して新しく始められたとのことであるので、また事業効果を検討していただきたい。姉妹都市教育交流事業については、毎回話をするが、相互交流を実施されているが、受入時にはできるだけ天草市の子どもたちと交流できるように考えていただき、国際交流の推進を今後も願います。今回、姉妹都市教育交流事業は見直して継続となっているので、やり方を改善するために見直すことは全くかまわないが、より充実したものとするために協議することとして見直して継続されるということであるので、どういう形で見直したのか、どういう形でもっと良くしたのか、来年聞かせていただきたい。

### ●学校教育課所管事業

様々な取り組みが行われている。点検評価調書は知らない人が見てもよりわかりやすくなった。教育相談事業も学校教育という話になると小中学校ということになるが、それを超え就学前の方からの相談も多くなっているということであり、就学前から小中学校へ連続で教育を行う良い取り組みである。今後とも充実させていただきたい。

### ●生涯学習課所管事業

見やすくまとめていただいた。また、方向性についても中央図書館と複合施設の開館が天草市における生涯学習の転機になる。次のステージを迎えるのでそこに合わせて天草での生涯学習をどう推進するのか検討していただきたい。少子高齢化に向かう中、今後ますます生涯学習が重要となってくる。生涯学習課が果たす役割のウエイトが大きくなっていくので、ぜひ検討をお願いする。

### ●学校給食課所管事業

今後も安心安全な給食を子どもたちに提供していただきたい。今、学校給食施設一覧をみて50年を経過数する施設もあるので、今後これをどうするのか考えなければならない。長寿命化の話もでてくると思うので、計画に基づいて維持できるように努めていただきたい。

### 【全体的意見・要望等】

天草市の学校教育現場、生涯学習の現場について点検をさせていただき、毎年着実に改善されてきているという感想をもっている。各事業についていろいろな意見を述べたが、それにきちんと対応され年々良くなっていると感じている。それをこれからもぜひ継続していただきたい。天草市の場合、小中学校の統合が完了し、生涯教育においては複合施設が来年度完成するというところで、新しいステージに入っていく。天草市の次のステージの教育をしていただき、次のステップに向かっていたいただきたい。学校教育については今後の方向性の話もあるため、意見を述べさせていただく。学校教育については、ぜひ子どもたちに天草の良さ、地域のことを深く知らせてあげる、そのような教育を行っていただきたい。少子高齢化が進んでおり、地方創生の取り組みがなされているが、要は、若い人たちが地方から東京へ出て行ってしまふことが大きな問題である。その中で、きちんと魅力を知っている子どもたちは、一度天草を出て行ってやはり地元で暮らしたいと帰ってくる子どもたちが多くなる。ぜひ天草のことを子どもたちに教えていただきたい。後は生涯教育であるが、私は熊本県の社会教育委員でもある。人生100年時代ということで、今までのステージとは違う。成長して就職して退職して引退して今までとは人生のステージの捉え方が異なってくる。退職した後、就職していた期間とほぼ同じ年月生きるといわれている。そんな感じになってくるので、生涯学習はこれから大きなテーマになっている。ぜひ充実した生涯教育の在り方について考えていただきたい。

松本由香里委員

### ●教育総務課所管事業

教育現場の環境づくりは教育の根幹である。エアコン設置、校舎等改修工事など時代とともに必要とされる事業は変化し、終わりががない。教育は未来への投資であるので適切な中にも先進的で思い切った考えで事業を行っていただきたい。

### ●学校教育課所管事業

近年の学校における相談事業の実施数の増加を見るにあたり、先生方も、生徒や保護者も容

易に答えの出ない悩みごとの答えを探し続けていると感じる。問題が多様化する中で自信も無くしている。そんな現場を助けるために様々な事業を実施し努力されていることが、多くの事業の実績を見る中で十分に伝わった。今後も現場を支える裏方としてご尽力をお願いしたい。

#### ●生涯学習課所管事業

市民の生涯において、学ぶ機会を提供するというこの課の役割は重要であるからこそ難しいと察する。情報社会の中で、魅力ある事業を提供し続け、多くの市民に利用、参加してもらわなければ評価されないのだから大変である。それを踏まえてお願いしたいのは、時代の流れを敏感にとらえ、未来に向けて市民が何を求めているのかを察知するアンテナを広く張って欲しい。また、情報発信においても常に積極的に行動して多くの方々に学ぶ機会を提供していただきたい。

#### ●学校給食課所管事業

人にとって食べることは健康な体を作ることであり、楽しむことであり、命と向き合うことである。すなわち、子どもにとっては人としての基礎を作ることである。天草市においては、給食事業に関わる全ての方々の努力と工夫で、子どもたちの体と心が豊かに育っていると感じる。今のまま、子どもたちに美味しく、安全安心な食を提供するという信念を忘れなければ天草市の学校給食における事業は大丈夫である。

#### 【全体的意見・要望等】

あまくさの未来を拓く「人」づくり。この理念のもとで教育委員会の事業は展開されている。天草の未来は、人口減少・超高齢化……暗いイメージばかりが浮かんでしまうが、今こそ明るい未来志向の教育が重要である。素晴らしい自然と温かい人々との関わり、高い教育力が郷土を愛する人を作り、どこにいても必ず天草を支えてくれる人を育てると思う。

また、高齢者が役割を持ち、健康で笑顔があふれ、学ぶ喜びを感じて生き活きとして生活していれば、天草は本当の意味で宝島になるはずである。そのために、教育委員会の事業は、とどまっておらず、先へ先へと進んでいかなければならない。果てなき道ではあるが、教育委員会に関わる全ての方々のご尽力に感謝とエールを贈りたい。

#### V 今後の方向性

- (1) 点検評価員の意見を真摯に受け止め、課を跨いで事業の統合ができるものがあれば、十分検討・協議を行い、今後の教育行政の運営に反映させる。
- (2) 点検評価の結果に基づき、事務事業の今後の取組みの方向性等の見直しを行い、次年度の予算に反映させる。

令和元年度 点検評価事業一覧

政 策 (基本方針)	施策計画	整理番号	事務事業名	所管課	
学校教育の充実	学力の向上	1	学習指導補助教員設置事業	学校教育課	
		2	読書活動支援事業		
		3	グローバル人材育成事業		
		4	総合的な学習活動支援事業		
			5	離島高校生修学費支援事業	教育総務課
			6	姉妹都市教育交流事業	
	心の教育の充実		7	心の教室相談事業	学校教育課
			8	適応指導教室設置事業	
	特別支援教育の充実		9	天草市特別支援教育総合推進事業	
			10	教育相談事業	
	教職員の資質の向上		11	市指定教育研究推進校補助金	
	学校・家庭・地域との連携		12	コミュニティ・スクールの推進に向けた取り組み	
	教育を支える環境づくりの推進		13	小学校施設大規模改造事業	教育総務課
			14	中学校施設大規模改造事業	
			15	小・中学校統合推進事業	

令和元年度 点検評価事業一覧

政 策 (基本方針)	施策計画	整理番号	事務事業名	所管課
学校教育の充実	教育を支える環境づくりの推進	16	小中学校ICT整備事業	学校教育課
		17	スクールバス運行事業	
	学校給食における食の安全と食文化の推進	18	地産地消の推進	学校給食課
		19	学校給食施設整備事業	
生涯学習の充実	生涯学習の推進	20	家庭教育支援事業	生涯学習課
		21	成人式	
		22	移動図書館事業	
		23	読書活動推進事業	
		24	生涯学習推進事業	
		25	勤労青少年ホーム事業	
		26	社会を明るくする運動・教育力活性化推進事業	
		27	放課後子ども教室推進事業	
		28	青少年健全育成事業	

点検評価調査		整理番号	1				
事業名	学習指導補助教員設置事業			担当課係名	学校教育課 教務2係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 次世代の担い手を育む		
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	学力の向上			
事業目的・内容	<p>●目的 小学校及び中学校においてチーム・ティーチング等きめ細やかな指導を行うことにより、児童・生徒の発達段階に応じた学校教育の実現を図る。</p> <p>●内容 各学校からの要望に基づき、現地調査を行い、小・中学校の教員免許状または養護教諭の免許状を持つ者を補助教員として配置を行う。 (配置基準) (1)小学校1学年、2学年に31人以上の学級で特に配慮を要する学校 (2)発達障害等特に配慮を要する学校 (3)複式学級がある学校</p>						
取組実績	<p>市内の小・中学校に、教員免許を持つ非常勤職員を配置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校からの要望数 74人(小学校 55人、中学校 19人)</li> <li>・現地調査を行った学校 25校(小学校 16校、中学校 9校)</li> <li>・学習指導補助教員配置数 41人(小学校 29人、中学校 12人)</li> <li>・配置基準別配置数 (1)8人 (2)33人 (3)0人 計41人</li> </ul>						
決算額		指標: 成果、活動の対象となるもの			評価		
平成30年度(千円)		指標名	単位	平成30年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
101,057 (一般 101,057)		学習指導補助教員の配置 数(年度末時点)	人	目標値 43 実績値 41			
				目標値 実績値	4	4	4
成果 自己評価	担任教諭と補助教員とのチーム・ティーチングで、児童生徒一人一人に目が行き届いた細やかな学習指導を行い、学習態度や集団生活等の基礎的事項の定着・向上が図られた。					総合評価 (方向性)	
課題	学校の状況を把握し、人材を探しながら配置することができた。しかしながら、学校からの要望は非常に多い。今後より多くの希望に添えるよう学校の選定、配置を行っていくことが重要である。					継続	
方向性	支援を必要とする子ども達は年々多くなっている傾向にあり、学校からの要望も非常に多い。身体的又は心の支援を必要とする子ども達のために、その要望に応えられるよう、継続することとしたい。						

点検評価調書		整理番号	2					
事業名	読書活動支援事業			担当課係名	学校教育課 教務2係			
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 次世代の担い手を育む			
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	学力の向上				
事業目的・内容	<p>●目的 学校教育において、児童の豊かな感性を磨き、表現力を高め想像力を豊かにし、情報活用能力を向上させる等効果的な読書活動や多様な学習活動を推進する。</p> <p>●内容 図書館業務の専門的知識を有する学校司書を巡回配置する。</p>							
取組実績	<p>図書館業務の専門的知識を有する学校司書を天草市内の小・中学校(30校)に、2校又は3校に1人の割合で巡回配置した。ただし、学校規模により、本渡南小、本渡北小、亀川小、本渡中については、1名を専属で配置した。</p> <p>・学校司書配置数 17人</p>							
決算額		指標: 成果、活動の対象となるもの			評価			
平成30年度(千円)		指標名	単位	平成30年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況	
33,260 (一般 33,260)		学校司書配置数	人	目標値				17
				実績値	17			
		貸出冊数	冊	目標値	280,000	4	4	4
				実績値	307,724			
成果 自己評価	図書館の視覚的な環境整備や、蔵書の整備を行うことにより、学校図書館教育の充実が図られ、子ども達の本への関心を高めることができた。					総合評価 (方向性)		
課題	学校教育において、効果的な読書活動や多様な学習活動を推進するためには学校司書の存在は欠かせないが、図書館業務においては専門的知識を必要とするため、学校司書の応募が少なく、採用については毎年苦慮している状況である。これまでの経験者や学校などと連携を図り、人材確保に努めていく必要がある。					継続		
方向性	学校における読書活動等のさらなる充実を図るため、今後も継続していくこととしたい。							

点検評価調書		整理番号	3			
事業名	グローバル人材育成事業			担当課係名	学校教育課 教務2係	
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画	次世代の担い手を育む
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	学力の向上		
事業目的・内容	<p>●目的 小中学校、児童・生徒が国内大学留学生及びALTとの交流(英会話)を通じ、コミュニケーション能力を高め、主体性・積極性を身につけることにより、グローバル人材として必要な資質の育成を図る。</p> <p>●内容 グループワークを通じて、互いの文化や言葉の違いを理解し合う。プログラム中のコミュニケーションは、原則として英語を使用する。</p>					
取組実績	<p>小中学校の児童生徒と、国内大学留学生及びALTとの交流(英会話)事業を実施した。 ・講師陣…京都大学経営管理大学院留学生、天草市外国語指導助手(ALT)</p> <p>【天草 English Day】 (1)本渡会場:平成30年9月1日 天草宝島国際交流会館ポルト 多目的ホール            &lt;小学生対象&gt; 10:00~12:00 参加者 78人            &lt;小・中学生対象&gt; 13:30~15:30 参加者 70人 参加者総合計 148人</p> <p>【学校訪問】 (1)栖本中学校:平成30年8月31日 栖本福祉会館            &lt;参加者&gt; 栖本中学校全校生徒 (2)天草小学校:平成30年9月3日 天草小学校 ランチルーム            &lt;参加者&gt; 天草小学校全校生徒 (3)有明小学校:平成30年9月4日 有明小学校 ランチルーム            &lt;参加者&gt; 有明小学校4~6年生</p>					
決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価		
平成30年度(千円)	指標名	単位	平成30年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
995 (一般 995)	本事業を楽しんでいる児童の割合	%	目標値			
			実績値	99.4		
				目標値		
				実績値		
				4	4	4
成果 自己評価	<p>イングリッシュデイに参加した児童生徒のアンケート結果では、99.4%の人が楽しかったとの回答であった。様々な国の外国人とふれあうことで、児童生徒の外国語に対する興味・関心の向上、コミュニケーション能力の育成を図ることができた。</p>				総合評価 (方向性)	
課題	<p>これまで4年(今年5年目)にわたってイングリッシュデイや学校訪問を行い、参加した子ども達に興味・関心を持ってもらうなど成果をあげることができた。今後は、グローバル人材育成事業全体の内容を見直し、学校だけではなく、一般市民とも関係が生まれるような事業、また、京都大学大学院留学生の能力がさらに生かされる事業とするための検討が必要である。</p>				継続	
方向性	<p>天草市と京都大学経営管理大学院とは二地域就労促進事業で包括協定を結んでおり、今後もグローバルな人材を育成するため、政策企画課等とも協議し、継続していくこととしたい。</p>					

点検評価調査		整理番号	4			
事業名	総合的な学習活動支援事業			担当課係名	学校教育課 教務1係	
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 次世代の担い手を育む	
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	学力の向上		
事業目的・内容	<p>●目的 子どもたちの学習の場を市内全域に広げ、天草の伝統・文化・自然・歴史等とふれあい、体験活動を通して自分で考え、主体的に判断、行動し、よりよく問題を解決する力を育むなど「生きる力」を育成する。また、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産登録に合わせ、構成地域の一つである崎津集落の現地学習を行い、地域の貴重な歴史的遺産について理解を深める。</p> <p>●内容 市内全小・中学校30校で総合的な学習活動の時間における体験学習等の校外活動に係る経費を負担する。</p>					
取組実績	<p>対象校:小学校17校 中学校13校 対象経費:交通費・講師謝礼等 【経費内訳】 ①報償費 20,000円 (小学校: 0円 中学校: 20,000円) ②使用料 1,799,265円 (小学校: 1,699,959円 中学校: 99,306円)</p>					
決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価		
平成30年度(千円)	指標名	単位	平成30年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
1,820 (一般 1,820)	総合的な学習の時間で関 わりのあった地域団体(個 人)等の数	団体 (人)	目標値 550	4	4	4
			実績値 523			
		目標値	4	4	4	
		実績値				
成 果 自己評価	<p>各校で自然環境・歴史・伝統・文化等の調査・観察・見学・体験活動(企業・工場・施設見学や職業・ふるさとの体験など)を実施し、児童生徒の学習意欲の向上を図るとともに、天草の伝統・文化への理解を深めることができた。なお、実施にあたり、文化課などが作成する資料を活用し、事業に取り組むことができた。また、平成30年7月に崎津集落が世界遺産登録されたことから、児童・生徒を対象とした現地学習を実施し、市内小・中学校27校の参加を得た。</p>				総合評価 (方向性)	
課 題	<p>各校で学習内容が異なるため予算を一律に配分することは困難であるが、各学校のニーズに合わせた予算措置が必要である。また、令和元年度より、市内小・中学校において世界文化遺産に関する学習、「世界遺産学」を教育課程に位置付けて取り組むことから、今後は崎津集落の現地学習を柱としながら、天草の豊かな地域資産を活用し、学習機会を設けていくことが必要と思われる。</p>				拡充	
方向性	<p>総合的な学習の時間において体験学習等の校外活動を実施するうえで、児童生徒の移動手段の確保等に対応しながら、積極的に実施することとしたい。</p>					

点検評価調書		整理番号	5			
事業名	離島高校生修学費支援事業			担当課係名	教育総務課 総務企画係	
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 次世代の担い手を育む	
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	学力の向上		
事業目的・内容	<p>①離島高校生修学支援補助</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●目的 御所浦町から高等学校等に通学する生徒の保護者の経済的負担を軽減する。</li> <li>●対象者 高等学校等に在学する生徒の保護者で、通学費若しくは下宿費等を負担している者。</li> <li>●補助対象経費及び補助額 ・御所浦町から天草市内の高等学校に定期船で通学する場合の定期船定期券代の全額 ・御所浦町を離れ、高等学校等に通学するために寮若しくはアパート等を利用している場合の住居費月額10,000円を上限(10,000円未満の場合はその額)</li> </ul> <p>②御所浦航路利便性強化補助</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●目的 御所浦町から天草高等学校倉岳校に通学する生徒が、朝課外及び部活動等に参加する場合の修学環境の向上を図る。</li> <li>●補助内容 定期船が利用できない時間帯に、天草高等学校倉岳校の校長が事前に定めた行事(朝課外・部活動等)において海上タクシーを利用する場合、海上タクシー利用料の全額を補助する。個人負担分について30年度は市負担。</li> <li>●補助対象者 天草高等学校倉岳校御所浦地区保護者会</li> </ul>					
取組実績	<p>①離島高校生修学支援補助</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■通学費補助 補助対象生徒数 17名 補助額 2,733,000円</li> <li>■下宿費等補助 補助対象生徒数 56名 補助額 6,191,742円 計8,924,742円</li> </ul> <p>②御所浦航路利便性強化補助</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■利用日数 136日 利用船舶数(隻) 249隻 利用者数(延べ) 1,956人</li> <li>■補助額 1,283,500円 (うち利用者負担額 391,200円は市が負担)</li> </ul>					
決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価		
平成30年度(千円)	指標名	単位	平成30年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
10,209 (国庫支出金 3,773) (県支出金 2,212) (一般 4,224)	補助対象者数	人	目標値			
			実績値	4		
	目標値	4				
	実績値		4			
成果 自己評価	御所浦支所まちづくり推進課にも申請書を備え付け、提出できる体制を取ることができ、スムーズな事務処理ができた。 補助申請者には書類不備で数回電話及び文書で不備により支払いができない旨の通知をしたが、連絡が取れず補助できなかった申請者がいた。定期船定期券代及び下宿費等の支払証明書の添付を必須としたため補助金請求時に不備が多かった。この点を改善を図る必要がある。				総合評価 (方向性)	
課題	転学や通学方法の変更がある場合に申請者からの連絡がなく変更決定通知等の送付が遅延し、国庫補助及び県補助を全額受けられない場合がある。補助金交付決定後、変更がある場合の連絡方法について検討する必要がある。				継続	
方向性	離島振興法及び御所浦振興策による事業であるため、現状のまま継続する。					

点検評価調書		整理番号	6			
事業名	姉妹都市教育交流事業			担当課係名	教育総務課 総務企画係	
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	国際化の推進	施策計画 姉妹都市・大学との交流 連携による人づくり	
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	学力の向上		
事業目的・内容	<p>●目的 本市の姉妹都市であるエンシニータス市(アメリカ合衆国・カリフォルニア州)と中学校生徒の派遣・訪問団受入れを交互に実施することにより、異なる文化や言語を学び、市民生活や学校生活を体験しながら交流を深め、幅広い視野と国際感覚を身につけ、21世紀の郷土を担う心身ともに逞しい青少年育成を図る。</p> <p>●内容 隔年で中学校生徒の派遣、エンシニータス市からの訪問団の受入れを行う。</p> <p>■中学生の派遣 ①ホームステイ ②市長表敬訪問・ジャパンフェスティバル等への参加 ③ロサンゼルス市内観光等</p> <p>■エンシニータス市訪問団の受入れ ①文化交流事業(茶道・華道体験、イルカウォッチング等) ②市内中学校を訪問し交流学習 ③ホームステイ(市民との交流)</p>					
取組実績	<p>平成30年度はエンシニータス市から天草市に高校生3名・引率者1名を受け入れた。</p> <p>■受入期間：平成30年7月27日(金)～平成30年8月3日(金)</p> <p>■受入中の活動：中学校訪問(本渡東中学校・栖本中学校・五和中学校)、崎津集落散策、イルカウォッチング、布草履作り、茶道・華道体験 滞在中の宿泊は市民宅にホームステイ。(7日間)</p>					
決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価		
平成30年度(千円)	指標名	単位	平成30年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
275千円	受入者数 (内生徒数)	人	目標値			
			実績値	4(3)		
			目標値	4	4	4
			実績値			
成果 自己評価	<p>エンシニータス市からの派遣団は本渡東中学校、栖本中学校及び五和中学校を訪問し、ゲームなどをしながら親睦を深めることができた。また、崎津集落散策、イルカウォッチング等を通して天草市の魅力を紹介することができた。</p> <p>エンシニータス市からの派遣団の訪問が夏休み期間中であるため、訪問した学校では生徒会が中心となって交流を行ったが、より多くの生徒と交流ができるとより良い事業となる。</p>				総合評価 (方向性)	
課題	<p>姉妹都市教育交流事業は隔年で派遣、受入れを実施しているが、受入れについては、天草を訪問して良かったと思ってもらえるよう交流内容を協議する必要がある。また、派遣についても交流内容の充実を図るため、協議を行う必要がある。</p>				見直して継続	
方向性	<p>派遣・受入れの内容について、より充実したものとするため協議することとし、見直して継続する。</p>					

点検評価調書		整理番号	7			
事業名	心の教室相談事業			担当課係名	学校教育課 教務2係	
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 次世代の担い手を育む	
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	心の教育の充実		
事業目的・内容	<p>●目的 不登校気味の生徒の適応問題や問題行動等に関する生徒の教育相談等を実施し、問題解決に向けた指導、援助を行う。</p> <p>●内容 中学校の生徒が悩みを気軽に話し、ストレスを少しでも和らげることのできるような環境を提供するため、各中学校の相談室等に「心の教室相談員」を各1名配置する。 ①教育相談 ②相談室登校への対応 ③保護者との連携推進 ※報酬 1時間当たり1,000円 ※週20時間以内</p>					
取組実績	<p>市内中学校全13校に相談員を1人ずつ配置した。</p> <p>[心の教室相談員] (配置校) 本渡中1名、本渡東中1名、稜南中1名、牛深中1名、牛深東中1名、有明中1名、御所浦中1名、倉岳中1名、栖本中1名、新和中1名、五和中1名、天草中1名、河浦中1名 計13名配置</p> <p>(相談件数) 7,907件</p>					
決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価		
平成30年度(千円)	指標名	単位	平成30年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
9,823 (一般 9,823)	相談件数	件	7,907			
	相談員設置校数	校	13	4	4	4
			実績値			
成果 自己評価	市内の全中学校に心の教室相談員を配置することができ、生徒の様々な悩み相談等に対して指導・助言を行ったことで、生徒のストレスを和らげたり、心のケアをすることができ、安心感や心のゆとりが生まれた。				総合評価 (方向性)	
課題	相談件数も多数あっており、子ども達の悩み等に対する的確なアドバイスができるよう実態等を分析し、相談員の質の向上を図っていくことが重要である。そのためには、情報交換を含めた研修会等を更に充実させ、また、突発的事項等にも対応できるよう、学校との連携を図っていく必要がある。				継続	
方向性	中学校の生徒が悩みを気軽に話し、ストレスを少しでも和らげることのできるような環境を提供する場としての存在意義は非常に大きいため、今後も継続していくこととしたい。					

点検評価調書		整理番号	8					
事業名	適応指導教室設置事業			担当課係名	学校教育課 教務2係			
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 次世代の担い手を育む			
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	心の教育の充実				
事業目的・内容	<p>●目的 本渡中学校の分教室として天草市勤労青少年ホームの一室に適応指導教室「カワセミ学級」を設置し、心理的又は情緒的理由により登校できない状態にある市内中学校生徒に対して、「引きこもり」の防止、学校復帰を目的とした指導及び援助を行う。</p> <p>●内容 教員免許を有する適応指導教室教員2名を配置し、不登校(気味)の生徒に対し、学習指導、教育相談等を実施する。 [開級日] 学校授業日のうち月曜日から金曜日 [学級時間割] 朝の会10:00～ (学習・給食) 帰りの会 15:00</p>							
取組実績	<p>様々な理由で学校に通学できない生徒の受け皿として、適応指導教室教員2名を配置した。</p> <p>[開級日]学校授業日のうち月曜日から金曜日 [学級時間割]朝の会10:00～ (学習・給食) 帰りの会15:00 [通級生徒数] 9人 (うち学校へ復帰した生徒数 1人)</p>							
決算額		指標: 成果、活動の対象となるもの			評価			
平成30年度(千円)		指標名	単位	平成30年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況	
5,029 (一般 5,029)		通級生徒数 (うち学校へ復帰した生徒数)	人	目標値	4	4	4	
				実績値				9 (1)
成果 自己評価		心理的又は情緒的理由により登校できない状態にある市内中学校生徒に対して、「引きこもり」の防止、学校復帰を目的とした指導及び援助を行ったことで、平成30年度は9名の在籍に対し、1名が復帰することができた。					総合評価 (方向性)	
		カワセミ学級は本渡中学校の分教室という位置づけであるため、利用者は本渡中学校の生徒が多い。しかし、他の中学校からも通級という形で当該学級に通えるカワセミ学級についての周知等を図り、真に支援が必要な不登校(気味)の生徒に対して指導・支援を行っていく必要がある。					継続	
方向性		様々な理由により学校に登校できない子ども達に、教育を受ける機会や社会と繋がる機会を提供する場としての存在意義は非常に大きいため、今後も継続していくこととしたい。						

点検評価調査		整理番号	9			
事業名	天草市特別支援教育総合推進事業			担当課係名	学校教育課 指導係	
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 次世代の担い手を育む	
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	特別支援教育の充実		
事業目的・内容	<p>●目的 発達障害を含む障がいのある子どもや特別な支援を必要とする子ども一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育や必要な支援の実施に向けて、天草市における特別支援教育の総合的な支援体制の整備及び特別支援教育の充実を図る。</p> <p>●内容 幼稚園・保育所(園)・学校・教育委員会・学識経験者・関係機関・保護者等の関係者からなる天草市特別支援教育連携協議会及び中学校区ごとの地区連携協議会を(13区)を設置し、天草市の特別支援教育の総合的な支援体制の整備及び特別支援教育を推進する。</p>					
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区連携協議会(13区)</li> <li>・推進会議(年2回)</li> <li>・リーダーコーディネーター研修(年2回)</li> <li>・巡回相談</li> <li>・推進会議(年2回実施)では、本年度の事業全体の計画、取組について協議・評価を行い、取組の改善につなげた。</li> <li>・実務担当者会議(年4回実施)では、コーディネーター研修及び推進会議に向けての協議を行い、各会議・研修の充実を図ることができた。</li> <li>・実務担当者会議(年4回)</li> <li>・天草市コーディネーター研修(年1回)</li> </ul>					
決算額	指標:成果、活動の対象となるもの			評価		
平成30年度(千円)	指標名	単位	平成30年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
316 (一般 316)	巡回相談における担任への支援 回数	回	目標値 40 実績値 49			
		回	目標値 実績値	4	4	4
成果 自己評価	<p>・天草市特別支援教育研修(コーディネーター研修)では、各学校のコーディネーターをはじめ、特別支援教育に携わっているコーディネーター以外の教員も参加し、242人(前年度比138%)の参加者があった。本研修では、「たしかな支援つながる支援 ～笑顔あふれる天草の子どもたちのために～」というテーマのもと、つながりのある支援体制について実践発表や熱心な協議が行われた。</p> <p>・巡回相談事業について、平成29年度56件の希望件数に対して、平成30年度は70件の相談希望があり、70件すべて実施することができた。</p>				総合評価 (方向性)	
課題	<p>・巡回相談件数70件中、担任からの相談を受け、支援をした回数は49件であった。今後、さらに個別のニーズに応じるため、関係機関等に積極的な周知を図る必要がある。</p>				継続	
方向性	<p>・引き続き積極的な取組として継続としたい。</p>					

点検評価調書		整理番号	10				
事業名	教育相談事業			担当課係名	学校教育課 指導係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 次世代の担い手を育む		
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	特別支援教育の充実			
事業目的・内容	<p>●目的 教育の相談員(教育相談カウンセラー、教育指導アドバイザー)を配置し、子育ての悩み・不安・ストレス等を持つ就学前幼児の保護者及び、小中学校の児童生徒やその保護者を対象にした相談活動を充実させ、保護者の子育てを応援する。また、必要に応じて教職員の悩みや学校での諸問題についての相談を実施する。</p> <p>●内容 保護者及び、小中学校の児童生徒やその保護者を対象にした相談活動(個別相談、研修・講演)及び教育全般への指導・助言(特別支援教育、不登校・いじめ等対策、幼稚園教育)を行う。</p>						
取組実績	<p>・相談60日予定のうち59日、延べ113件の個別相談と5回の研修会・講話の実施を行った。          ・就学前では周知が広まり、保育園(所)の相談が増えた。          ・保健師を通じたものも多く、子育て支援の連携が広がっている。          ・小中学校から25件の相談があり、主なものとしては不登校児の継続相談依頼であった。          ・相談後の職員ミーティングで専門的な助言を受けることで、専門性の向上や指導力向上へつながっている。</p> <p>教育相談カウンセラー5名の相談対象について          【臨床心理士・言語聴覚士】就学前20名、小学生4名、中学生1名 計25名          【臨床心理士】就学前15名、小学生1名、中学生1名 計17名          【言語聴覚士】就学前18名、中学生1名 計19名          【作業療法士】就学前30名、小学生4名 計34名          【臨床心理士】就学前 6名、小学生9名 中学生3名 計18名</p>						
決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価			
平成30年度(千円)	指標名	単位	平成30年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況	
3,912 (一般 3,912)	教育相談日数	日	目標値				予定60
			実績値				59
	カウンセリング件数	件	目標値				-
			実績値	113			
4	4	4					
成果 自己評価	<p>・専門的なアドバイスを受けることにより、相談者や保護者は不安やストレスを和らげ、教師は個々に応じた支援体制を整えることができている。          ・障がいのある子どもが十分に教育を受けられるための合理的な配慮の整備や特別支援教育の推進につながっている。</p>				総合評価 (方向性)		
課題	<p>・保護者が子どもへ愛着がもてないという相談もあり、虐待等につながらないように、福祉や関係機関との連携をさらに図るなど、保護者の悩みに対して積極的に対応していくための体制を整えていく必要がある。          ・作業療法士への相談依頼が増えており、早い時期に年間予定が埋まって、緊急な場合の対応ができないことがあることから、人員や相談日の増加が課題である。</p>				継続		
方向性	<p>・相談員及び関係機関と連携し継続としたい。</p>						

点検評価調書		整理番号	11				
事業名	市指定教育研究推進校補助金			担当課係名	学校教育課 指導係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画	次世代の担い手を育む	
教育振興 基本計画	教育目標	学校教育の充実	施策計画	教職員の資質の向上			
事業目的・内容	<p>●目的 絶え間ない技術革新とグローバル化が進展する変化の激しい社会に、主体的に対応し、たくましく生きる人材の育成を図るため、学校教育に求められている今日的な課題について学校および地域の実態に即して研究を深める。また、その成果を普及することにより本市教育の振興に資する。</p> <p>●内容 研究推進校を指定し独自の事業を実施する。指定校は5校(うち数校は中学校区における取組)とする。</p>						
取組実績	<p>指定校区(5校区、9校)</p> <p>○本渡南小学校、本渡北小学校、本町小学校、佐伊津小学校、本渡中学校 主体的に学びあう本中校区の児童・生徒の育成を目指した小中連携の在り方 ～「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業展開の工夫を通して～</p> <p>○倉岳小 「一小一中における小中連携『倉岳モデル』の創造」 ～18年間を見通して、倉岳町全体で園児・児童・生徒の資質・能力を育成する～</p> <p>○牛深中 互いに認め合う関係づくりと学力向上の取組 ～小中連携の充実と「楽しく」「わかる」魅力ある授業づくり～</p> <p>○御所浦中 起業体験を通して、自ら考え、工夫していく力を培い、主体的に学ぼうとする生徒の育成</p> <p>○栖本中 生徒が思考を「つなぐ」学習活動の工夫</p>						
決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価			
平成30年度(千円)	指標名	単位	平成30年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
996 (一般 996)	複数校における連携した 取組	校区	目標値	2			
			実績値	1			
			目標値		4	4	3
			実績値				
成果 自己評価	<p>・全国学力・学習状況調査の結果において、中学校が全国平均を下回っていたが、昨年度から改善の傾向が見え始めた。</p> <p>・今年度は、中学校区5校における研究を行うことができ、うち1校区は複数校での取組ができた。どのような授業改善をしていけばいいのか、9カ年の学びの連続性を意識するようになり、小中連携を意識した授業改善につながってきている。</p>					総合評価 (方向性)	
課題	<p>・大規模校が天草市の中核校としてのリーダー的な役割を担っているため、それらの学校が研究指定を受けることが多くなっている。今後、すべての小中学校に対して、研究指定の意義等、更なる周知をしていく必要がある。</p>					継続	
方向性	<p>・今後も、一つの学校にこだわらない指定の在り方を検討し、継続していきたい。</p>						

点検評価調査		整理番号	12				
事業名	コミュニティ・スクールの推進に向けた取組み			担当課係名	学校教育課 指導係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 次世代の担い手を育む		
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策計画	学校・家庭・地域との連携			
事業目的・内容	<p>●目的 学校と保護者や地域の方がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める。</p> <p>●内容 地教法第47条の6に基づいた仕組みであり、本年度は本町小学校及び五和小・中学校に学校運営協議会(コミュニティスクール)を設置し、各支援コミュニティの組織づくりと効果的な運用、コミュニティスクールへの理解を高めるための啓発活動に取り組むとともに、モデル校として、他の学校や地域への発信を行う。</p>						
取組実績	<p>・平成30年度末の状況 コミュニティスクール3校(本町小、五和小中)、熊本版コミュニティスクール26校</p> <p>・令和2年度までに全校で学校運営協議会(コミュニティスクール)を設置することとし、関係規則の整備を行った。</p> <p>これまで、学校が主体的に、保護者と地域の方々を設置していた熊本県版のコミュニティスクールは、地方教育行政の組織及び法律の改正(学校運営協議会の設置の努力義務化)に伴い、教育委員会が指定し、委員を委嘱するコミュニティスクールに全校移行する。</p> <p>学校運営協議会は、学校運営などについて協議し、承認する合議制の機関であり、これにより、これまでの校長の求めに応じ学校運営に関する意見を述べる学校評議員制度は廃止する。</p>						
決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価			
平成30年度(千円)	指標名	単位	平成30年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
338 (一般 338)	設置校数	校	目標値	3			
			実績値	3			
			目標値		4	4	4
			実績値				
成果 自己評価	<p>平成30年度も、本町小学校、五和小・中学校の3校において実施され、防災、学習指導、行事等において、地域の教育力を生かした特色ある教育活動が行われた。</p> <p>また、今後の方針として、令和2年度までに全校で学校運営協議会(コミュニティスクール)を設置することとした。</p>					総合評価 (方向性)	
課題	<p>・天草市内の小中学校30校のうち、コミュニティスクールは3校に留まっている。</p> <p>・次年度はこの3校に加え、小学校6校、中学校4校において、コミュニティスクールが設置される予定であり、地域や関係部署と連携が必要である。</p>					拡充	
方向性	<p>令和2年度以降は、市内のすべての小中学校でコミュニティスクールを設置する方向であり、今後より一層「地域とともにある学校づくり」を推進するため、地域や関係部署(生涯学習課等)と連携し、事業を拡大する。</p>						

点検評価調書		整理番号	13				
事業名	小学校施設大規模改造事業			担当課係名	教育総務課 施設係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 教育を支える環境づくりの推進		
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	教育を支える環境づくりの推進			
事業目的・内容	<p>学校施設は、児童が一日の大半を過ごす活動の場であるとともに、災害が発生する恐れがあるときや災害発生時には、地域住民の避難場所としての役割も果たすことから、その安全性の確保は極めて重要である。築25年以上経過した建物について、建物全体を改造する工事を行い、建物の耐久性を確保し、児童が心地よく学習できるよう教育環境の改善を図る。</p>						
取組実績	<p>&lt;仮設校舎及びプールの大規模改修工事、令和元年度以降工事測量設計委託&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●総事業費 106,503千円</li> <li>●事業内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・役務費 43千円(仮設校舎確認手数料)</li> <li>・測量設計委託料 5,821千円(本渡北小学校地質調査業務、本渡北小学校屋外トイレ改修設計、本渡北小学校用地測量設計、亀川小学校屋内運動場改築設計 4件)</li> <li>※市内小学校空調設備設置設計 4件(平成29年度から繰越) 16,222千円</li> <li>・使用料及び賃借料 10,071千円(本渡北小学校仮設校舎賃貸借 1件)</li> <li>・工事請負費 46,327千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>楠浦小学校プール改修工事(建築、設備等 4件)、本渡北小学校仮設校舎関連工事(建築、設備、遊具等 4件)、本渡北小学校屋外トイレ改修工事(建築、設備 2件)</li> </ul> </li> <li>・公有財産購入費 28,019千円(本渡北小学校隣接用地 1,859㎡購入 1件)</li> </ul> </li> </ul>						
決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価			
平成30年度(千円)	指標名	単位	平成30年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
106,503 (国庫補助金 477) (一般 106,026)	整備件数	件	目標値	2			
			実績値	2			
	測量設計委託件数	件	目標値	17			
			実績値	17			
4	4	4					
成果 自己評価	<p>楠浦小学校プール改修工事及び本渡北小学校仮設校舎建設に伴う、関連工事等10件の改修工事を行った。併せて、平成30年度工事のための設計2件、令和元年度以降工事予定の測量設計業務6件を実施し設計が完了した。また、教室不足を解消するために本渡北小学校敷地内に2教室分の仮設校舎も完成することができた。</p> <p>また、空調設備整備事業では、12月補正にて小学校17校分の空調設置工事費を予算計上し、平成31年3月工事発注、令和元年度への繰越手続を行い、令和元年9月末完了としている。</p>					総合評価 (方向性)	
課題	<p>国庫補助金を財源とするため、国からの補助決定がなければ計画年度で改修工事を実施することができない。</p> <p>また、補助対象外の大規模改修工事についても、別に財源を確保する必要があるため、容易に事業実施ができない状況にある。</p>					継続	
方向性	<p>天草市公共施設個別施設計画(令和元年～令和12年)及び定期点検の結果等を踏まえながら老朽化している施設の状況を把握し、計画的に事業を実施していく必要がある。</p>						

点検評価調書		整理番号	14				
事業名	中学校施設大規模改造事業			担当課係名	教育総務課 施設係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 教育を支える環境づくりの推進		
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	教育を支える環境づくりの推進			
事業目的・内容	<p>学校施設は、生徒が一日の大半を過ごす活動の場であるとともに、災害が発生する恐れがあるときや災害発生時には地域住民の避難場所としての役割も果たすことから、その安全性の確保は極めて重要である。築25年以上経過した建物について、建物全体を改造する工事を行い、建物の耐久性を確保し、生徒が心地よく学習できるよう教育環境の改善を図る。</p>						
取組実績	<p>&lt;空調設置及び敷地内道路改良等の大規模改修工事、令和元年度以降工事測量設計委託&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●総事業費 461,391千円</li> <li>●事業内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・測量設計委託料 6,966千円(稜南中学校校舎・屋体改修設計、中学校空調設備設置工事監理業務 4件)</li> <li>※市内中学校空調設備設置設計 3件(平成29年度から繰越) 12,506千円</li> <li>・工事請負費 441,919千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>中学校空調設備設置工事13校分(設備等 13件)、牛深東中学校道路改良工事 1件、空調設備更新工事(設備等 6件)、駐車場等整備工事 2件</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>						
決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価			
平成30年度(千円)	指標名	単位	平成30年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
461,391 (国庫補助金 98,294) (一般 363,097)	整備件数	件	目標値	13			
			実績値	13			
	測量設計委託件数	件	目標値	13			
			実績値	13			
4	4	4					
成果 自己評価	<p>中学校空調設備設置工事及び牛深東中学校道路改良工事、これらに関連する工事等22件の改修工事を行った。併せて、平成30年度工事の設計7件、令和元年度以降工事予定の測量設計業務1件を実施し設計が完了した。空調設備設置完了に伴い、学習環境の改善を図ることができた。</p>					総合評価 (方向性)	
課題	<p>国庫補助金を財源とするため、国からの補助決定がなければ計画年度で改修工事を実施することができない。また、補助対象外の大規模改修工事についても、財源を確保する必要があるため、容易に事業実施ができない状況にある。</p>					継続	
方向性	<p>天草市公共施設個別施設計画(令和元年～令和12年)及び定期点検の結果等を踏まえながら老朽化している施設の状況を把握し、計画的に事業を実施していく必要がある。</p>						

点検評価調査		整理番号	15																																													
事業名	小・中学校統合推進事業			担当課係名	教育総務課 施設係																																											
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画	教育を支える環境づくりの推進																																										
教育振興 基本計画	教育目標	学校教育の充実	基本方針	教育を支える環境づくりの推進																																												
事業目的・内容	<p>天草市学校規模適正化(学校統廃合)推進計画に基づき、複式学級の解消と学校規模の適正化により、活力ある児童・生徒の育成を目指す。</p> <p>○小学校 小学校42校(分校を含む)を17校にする。</p> <p>○中学校 中学校15校を13校にする。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">学校数の年度別推移</th> <th colspan="9">単位: 校</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>22</th> <th>23</th> <th>24</th> <th>25</th> <th>26</th> <th>27</th> <th>28</th> <th>29</th> <th>30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>42</td> <td>41</td> <td>35</td> <td>29</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>21</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>							学校数の年度別推移		単位: 校									年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	小学校	42	41	35	29	22	22	22	21	17	中学校	15	15	13	13	13	13	13	13	13
学校数の年度別推移		単位: 校																																														
年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30																																							
小学校	42	41	35	29	22	22	22	21	17																																							
中学校	15	15	13	13	13	13	13	13	13																																							
取組実績	<p>(1)天草市学校規模適正化推進計画に基づき、計画どおり小学校17校、中学校13校となり平成30年度は、本渡東小学校及び有明小学校2校の開校式を行った。</p> <p>(2)統合後の財産移管に伴う関連工事や対応が必要な工事等を実施した。主となる工事は、瀬戸運動広場改修工事、瀬戸運動広場屋外トイレ建築工事、牛深東小中学校プール改修工事等、合計17件の工事を実施した。</p> <p>総事業費 【小学校統合に関する消耗品費、手数料、委託料、工事請負費に使用。※工事請負費については、平成28年度及び平成29年度に統合した小学校の統合条件に係る工事を実施した。】 消耗品費 5千円、手数料 21千円、委託料 648千円、工事請負費 54,796千円 計 55,470千円</p>																																															
決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価																																												
平成30年度(千円)	指標名	単位	平成30年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況																																									
55,470 (一般 55,470)	小学校数	校	目標値	17																																												
			実績値	17																																												
	中学校数	校	目標値	13																																												
			実績値	13																																												
4	4	4																																														
成果 自己評価	天草市学校規模適正化(学校統廃合)推進計画に基づき、平成22年度から9年間で小学校17校、中学校13校に統合を完了することができた。それぞれの統合条件に係る工事も全て完了し、複式学級の解消と学校規模の適正化により、活力ある児童・生徒の育成を目指す目的は果たすことができたと思われる。					総合評価 (方向性)																																										
課題	廃校施設及び跡地については、庁内組織である公有財産利活用検討委員会に諮り、利活用方法について検討を進める必要があるが、手続上は、行政財産の用途廃止手続を行い、管財課(現 財産経営課)へ移管済みである。					終了																																										
方向性	平成30年度をもって、天草市学校規模適正化(学校統廃合)推進計画は完了となるが、今後も児童生徒がよりよい教育環境の中で、より効果的な教育が受けられるよう努力する必要がある。																																															

点検評価調査		整理番号	16					
事業名	小中学校ICT整備事業			担当課係名	学校教育課 教務1係			
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 教育を支える環境づくりの推進			
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	教育を支える環境づくりの推進				
事業目的・内容	<p>●目的 市内の小中学校へICT機器を整備することにより学校における情報化への対応を進め、①情報活用の実践力、②情報の科学的な理解、③情報社会に参画する態度の3つの観点から児童・生徒の情報活用能力の育成を図る。また、校務の効率化、セキュリティ対策の強化を目的に全教職員へ校務用パソコンを配備し、イントラネットや共有サーバも提供することで情報の共有化を図る。</p> <p>●内容 学習用パソコン及び実物投影機など機器の購入や修繕、保守など、小中学校におけるICT環境の整備を行う。</p>							
取組実績	<p>○パソコン教室の整備 パソコン教室のデスクトップパソコンをタブレット端末へ更新 亀川小 42台 本渡東小 40台 楠浦小 32台 本町小 20台 佐伊津小 32台 牛深小 36台 有明小 39台 御所浦小 18台 倉岳小 28台 栖本小 17台 新和小 29台 五和小 40台 天草小 15台 タブレット端末の追加購入 本渡北小 40台 合計 428台</p> <p>○ICT機器の更新・修繕 実物投影機54台、プロジェクター9台、液晶テレビ33台を配置</p> <p>○教職員向けICT研修委託 パソコン教室のデスクトップパソコンをタブレットへ更新した13校で開催</p>							
決算額		指標: 成果、活動の対象となるもの			評価			
平成30年度(千円)		指標名	単位	平成30年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況	
112,178 (一般 112,178)		パソコン教室整備校	校	目標値				13
				実績値				13
		整備台数	台	目標値				388
				実績値	428			
成果 自己評価	<p>児童生徒が情報社会に主体的に対応できる「情報活用能力」を身につけることの重要性が高まる中で、ICT機器を活用した「分かる授業」の実施により、「確かな学力」の育成に貢献している。</p> <p>タブレット端末や実物投影機等の導入により、ICT機器を活用した授業づくりを行うことで、児童生徒の授業に対する関心や学習理解を高めることができた。</p> <p>教職員向けICT研修については、市教委主催のICT活用の研修に加え、タブレット配備が初年度の学校で使用方法についての校内研修を行うことで、授業や教材研究など、教職員のICT機器の活用能力の向上に寄与した。</p> <p>また、今後更にICT環境の整備が求められる状況で教育条件の不均衡が生じることのないよう、タブレット端末の整備期間を7年から4年の計画に見直しを行った。</p>					総合評価 (方向性)		
課題	<p>児童生徒のICT機器の活用能力の向上や児童生徒が主体的に学ぶ意欲を引き出す授業づくりができるよう、今後も教職員のICT機器の操作・活用方法などの研修を引き続き実施する必要がある。</p> <p>また、校務支援システムの導入についても検討を行い、校務の効率化を図りながら学校業務の改善を進めていく必要がある。</p>					継続		
方向性	<p>学習用コンピューター等ICT機器の設置については、文部科学省のICT環境整備方針や学習指導要領等に表示される内容に基づき整備したいと考えており、継続して取り組みたい。</p>							

点検評価調書		整理番号	17				
事業名	スクールバス運行事業			担当課係名	学校教育課 教務1係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画	教育を支える環境づくりの推進	
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	教育を支える環境づくりの推進			
事業目的・内容	<p>●目的 小・中学校の統合で通学距離が遠距離となった児童・生徒の安全かつ安心な通学手段の確保する。</p> <p>●内容 児童・生徒の交通手段としてスクールバス及びスクールポート(御所浦)を運行することで、20校54路線の安全かつ安心な通学環境を確保するとともに、遠距離の児童生徒を持つ保護者の経済的負担を軽減する。</p>						
取組実績	<p>スクールバス・スクールポートの運行(航)管理業務委託事業(平成30年度末)</p> <p>【本渡】小学校4台 中学校1台 【牛深】小・中学校9台  【有明】小学校5台 中学校2台 【御所浦】小学校2台 小・中学校1隻  【倉岳】小学校2台 【栖本】小学校1台  【新和】小学校4台 【五和】小学校7台 中学校5台  【天草】小学校3台 中学校2台 【河浦】小学校4台 中学校2台  計 スクールバス53台、スクールポート1隻</p> <p>平成30年度は、全路線54路線が平成31年3月末で契約満了に伴う、一斉契約更改の時期であり児童生徒の減少に伴い、路線統合、車種の小型化を図った。また、安定したスクールバス運行事業を今後も続けていくために、発注者、受注者ともに契約事務の効率化、コスト削減を目指し、これまで最長3年間だった複数年契約を5年間(スクールポートは除く)とした。</p>						
決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価			
平成30年度(千円)	指標名	単位	平成30年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
409,807 (国庫補助金57,715) (一般 352,092)	スクールバス運行校	校	目標値	20			
			実績値	20			
	乗車人数	人	目標値	1242			
			実績値	1242			
4	4	4					
成果 自己評価	<p>学校統合に伴う遠距離通学者の通学手段として、貢献度の高い事業である。</p> <p>運行(運航)する全ての路線において運行委託契約を締結することができ、遠距離通学者の交通手段として安心安全な通学環境を確保することができた。</p>					総合評価 (方向性)	
課題	<p>「スクールバスは教育に関するものである」との位置づけを踏まえ、事業者及び運転手に対し児童生徒への対応等の指導を行い、常に安心して安全な運行に努める必要がある。</p>					継続	
方向性	<p>今後も学校統合に伴う遠距離通学者の通学手段として、大変重要であるといえることから、今後も継続していく。</p>						

点検評価調書		整理番号	18					
事業名	地産地消の推進			担当課係名	学校給食課			
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画 学校給食の充実			
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	学校給食における食の安全と食文化の推進				
事業目的・内容	<p>・安全・安心でおいしい給食の提供に努めるとともに地産地消を推進する。          ・天草産・熊本県産の旬の野菜等生産物の購入により、感謝の心を育てたり、地域資源でもある農水産物に興味をもたせ、生産者等の顔が見える給食づくりを目指す。</p>							
取組実績	<p>・「天草宝島お魚給食の日」を設け、牛深産キビナゴを天草漁協・水産振興課の協力を得て市内全小中学校及び幼稚園の給食に提供。また、小中学校13校で、「キビナゴの紹介」や「天草灘の漁業について」の出前講座を行った。          ・毎月19日の「食育の日」に天草産の特産物や郷土料理を取り入れた献立を各センターで実施した。          ・各センターの栄養士も各学校での出前講座や給食だよりにより地産地消の取り組みについて周知を行うことが出来た。</p>							
決算額		指標: 成果、活動の対象となるもの			評価			
平成30年度(千円)		指標名	単位	平成30年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
		熊本県産農林水産物 (品目の割合) 熊本県産 天草産	%	目標値	55			
				実績値	51.7 24.6			
		天草産農林水産物 (金額の割合)	%	目標値	15	4	4	4
				実績値	13.5			
成果 自己評価	各センターでは、地場産品を給食に取り入れるためのさまざまな工夫を行っている。 特に、毎月、天草の旬の食材「新じゃが、アスパラ、おくら、なす、白菜」などを使用した献立を実施するなどし、目標値には至らなかったが、地産地消率を上げることが出来た。						総合評価 (方向性)	
課題	天草産の活用については、食材の量・品目数・規格・価格面などの課題があるが、地元JAや漁協、生産者及び農林・水産振興課と連携して組織的に取り組む必要がある。 また、給食現場と小規模な生産者からの集荷などを可能とするため直売所等と連携を行う必要がある。						継続	
方向性	地元の食材を利用した献立の内容を充実して継続していきたい。							

事業名	学校給食施設整備事業			担当課係名	学校給食課
-----	------------	--	--	-------	-------

第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	学校教育の充実	施策計画	学校給食の充実
-------------------	------	---------------	----	---------	------	---------

教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	学校教育の充実	施策 計画	学校給食における食の安全と食文化の推進		
--------------	--------------	---------	----------	---------------------	--	--

事業目的・内容	各給食センターの給食設備を「天草市学校給食基本計画」に基づき整備・更新し、安全・安心でおいしい給食を提供する。							
	平成30年5月1日 現在							
	給食センター名	地区	建築年月	経過年数	幼稚園	小学校	中学校	食数
	本渡学校給食センター	本渡	昭和50年3月	43	3	7	3	3,944
	牛深学校給食センター	牛深	平成20年3月	10	/	2	2	802
	御所浦学校給食センター	御所浦	昭和62年3月	31	/	1	1	166
	栖本学校給食センター	倉岳・栖本	平成14年12月	15	/	2	2	361
	新和学校給食センター	新和	昭和43年3月	50	/	1	1	210
	五和学校給食センター	五和	平成11年2月	19	/	1	1	518
	天草学校給食センター	天草	昭和56年3月	37	/	1	1	178
河浦学校給食センター	河浦	平成1年4月	29	/	1	1	284	
有明小学校調理場	有明	平成29年11月	0	/	1	/	199	
有明中学校調理場		平成17年3月	13	/	/	1	122	
合計				3	17	13	6,784	

取組実績	・ 栖本学校給食センター真空冷却機更新 事業期間 平成30年度 事業費 3,526,200円
	・ 五和学校給食センター蒸気ボイラー改修工事 事業期間 平成30年度 事業費 2,300,400円

決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価		
平成30年度(千円)	指標名	単位	平成30年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
6,067 (一般 6,067) (市債 0)	対象事業数	件	目標値			
			実績値	2		
			目標値	4	4	4
			実績値			

成果 自己評価	老朽化した給食設備の更新を計画どおり実施することが出来た。 今後も、計画的に給食設備の更新を行い、安定した給食の提供を図る。	総合評価 (方向性)  継続
課題	学校給食センターの設備が古くなっているため、更新をする機器が増えてきているので、故障や部品の供給状況を確認しながら更新して行く必要がある。	
方向性	老朽化した給食設備を、計画的に更新する。	

点検評価調書		整理番号	20					
事業名	家庭教育支援事業			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係			
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	生涯学習の充実	施策計画	生涯学習の推進		
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	生涯学習の充実	施策 計画	生涯学習の推進				
事業目的・内容	<p>●目的 学校・地域の実情に応じた家庭教育に関する支援体制づくりや学習機会の提供等を行い、家庭教育の再生を図る。</p> <p>●内容</p> <p>① 家庭教育支援員配置 家庭教育支援員を配置し、学校や地域の実情に応じて、家庭教育支援に関する業務 ・学校や地域の実情に応じた家庭教育支援に関する業務 ・各小学校の就学時健診やPTA行事等の際に家庭教育に関する講座を開催 ・3歳児、5歳児健診時等に家庭教育講座を開催</p> <p>② 家庭教育講座等講師派遣(社会教育指導員、家庭教育支援員及び外部講師) ・保育園(所)、幼稚園及び小中学校等への講師派遣 ・3歳児、5歳児健診時等の家庭教育講座</p>							
取組実績	<p>① 家庭教育支援員配置 本渡東小学校、有明小学校に各1人配置</p> <p>② 家庭教育講座等講師派遣 各小中学校の就学時健診、PTA行事や3歳児・5歳児健診等の際、家庭教育に関する講座を開催 ・実施回数201回(小学校67回、中学校21回、幼稚園8回、保育所(園)7回、3・5歳児健診62回、 その他児童館等36回) ・延べ参加者数 5,387人</p>							
決算額		指標:成果、活動の対象となるもの			評価			
平成30年度(千円)		指標名	単位	平成30年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
1,719 (県支出金 808) (一般 911)		家庭教育講座開催数	回	目標値	200			
				実績値	201			
		家庭教育講座参加者数	人	目標値	6,000	4	4	4
				実績値	5,387			
成果 自己評価	<p>本渡東小学校、有明小学校に家庭教育支援員を各1人配置し、学校や地域の実情に応じた情報誌の発行・配付、相談体制、家庭教育講話や「親の学びプログラム」の普及等、家庭教育支援を行った。 また、家庭教育支援員と社会教育指導員が天草教育事務所社会教育主事等と連携し、小中学校だけでなく、様々な場で家庭教育講話を開催することができた。講座開催は増えつつあるが、参加者数については目標値に及ばなかった。</p>						総合評価 (方向性)	
課題	<p>保育所(園)の実施が少ないため、保育所(園)長会等に出向いて周知を行い家庭教育の拡充を図る必要がある。</p>						見直して継続	
方向性	<p>家庭教育学級等への講師派遣については、保育所(園)等での実施など子育て支援課と連携し積極的に推進していく。</p>							

点検評価調書		整理番号	21																																																				
事業名	成人式			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係																																																		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	生涯学習の充実	施策計画	生涯学習の推進																																																	
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	生涯学習の充実	施策 計画	生涯学習の推進																																																			
事業目的・内容	<p>●目的 人生の節目を迎えた新成人が大人としての生き方を考え、決意する場、友人と再会しその喜びに浸るとともに、今後の生き方を語り合い励ましあう場、家族が子ども・孫の成長を実感し新成人と共に喜びを分かち合うとともに、新成人が家族への感謝を感じる場とする。</p> <p>●内容 ・開催方法等 各地区ごとに開催(8月16日 牛深、1月3日 本渡、有明、倉岳、栖本、天草、河浦、1月4日 御所浦、新和、五和) ・式典の実施 アトラクションとして各地区の郷土芸能披露や成人者自身が成人としての決意を発表。 ・終了後記念撮影を行い、天草市の記念品として写真を贈呈する。</p>																																																						
取組実績	<p>各地区ごとに開催</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>(開催日)</th> <th>(地区名)</th> <th>(対象者数)</th> <th>(出席者数)</th> <th>(出席率)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月16日</td> <td>牛深地区</td> <td>132人</td> <td>113人</td> <td>85.6%</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">1月3日</td> <td>本渡地区</td> <td>407人</td> <td>344人</td> <td>84.5%</td> </tr> <tr> <td>有明地区</td> <td>56人</td> <td>48人</td> <td>85.7%</td> </tr> <tr> <td>倉岳地区</td> <td>26人</td> <td>21人</td> <td>80.8%</td> </tr> <tr> <td>栖本地区</td> <td>23人</td> <td>22人</td> <td>95.7%</td> </tr> <tr> <td>天草地区</td> <td>34人</td> <td>32人</td> <td>94.1%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">1月4日</td> <td>河浦地区</td> <td>50人</td> <td>44人</td> <td>88.0%</td> </tr> <tr> <td>御所浦地区</td> <td>25人</td> <td>22人</td> <td>88.0%</td> </tr> <tr> <td>新和地区</td> <td>29人</td> <td>25人</td> <td>86.2%</td> </tr> <tr> <td>全地区計</td> <td></td> <td>71人</td> <td>60人</td> <td>84.5%</td> </tr> </tbody> </table>						(開催日)	(地区名)	(対象者数)	(出席者数)	(出席率)	8月16日	牛深地区	132人	113人	85.6%	1月3日	本渡地区	407人	344人	84.5%	有明地区	56人	48人	85.7%	倉岳地区	26人	21人	80.8%	栖本地区	23人	22人	95.7%	天草地区	34人	32人	94.1%	1月4日	河浦地区	50人	44人	88.0%	御所浦地区	25人	22人	88.0%	新和地区	29人	25人	86.2%	全地区計		71人	60人	84.5%
(開催日)	(地区名)	(対象者数)	(出席者数)	(出席率)																																																			
8月16日	牛深地区	132人	113人	85.6%																																																			
1月3日	本渡地区	407人	344人	84.5%																																																			
	有明地区	56人	48人	85.7%																																																			
	倉岳地区	26人	21人	80.8%																																																			
	栖本地区	23人	22人	95.7%																																																			
	天草地区	34人	32人	94.1%																																																			
1月4日	河浦地区	50人	44人	88.0%																																																			
	御所浦地区	25人	22人	88.0%																																																			
	新和地区	29人	25人	86.2%																																																			
全地区計		71人	60人	84.5%																																																			
決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価																																																			
平成30年度(千円)	指標名	単位	平成30年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況																																																	
791 (一般 791)	出席率	%	目標値				85.0																																																
			実績値	85.7																																																			
	目標値		4	4	4																																																		
	実績値																																																						
成果 自己評価	本市は、10地区での開催を継続しており、新成人者の出席率は、平成30年度で85.7%と高く、新成人者が実行委員を担う地域の特性を活かした、成人式の開催になっており、成人式の企画・立案や司会なども行い、地域住民の方からも一定の評価を得ている。				総合評価 (方向性)																																																		
課題	今後新成人の数は減少する傾向にある。新成人や保護者、地域にとって魅力ある成人式のあり方について、アンケートを実施し、その結果を踏まえて調査、検討していく必要がある。 併せて、成年年齢の引き下げ(18歳)についても、国の動向と他市の状況を踏まえて検討する必要がある。				継続																																																		
方向性	成人式のあり方については、新成人や保護者が参加しやすい環境面の条件も求められること等、地域の理解が前提であるため、アンケートの内容、調査方法を検討していきたい。																																																						

点検評価調書		整理番号	22					
事業名	移動図書館事業			担当課係名	生涯学習課 中央図書館庶務係			
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	生涯学習の充実	施策計画	生涯学習の推進		
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	生涯学習の充実	施策 計画	生涯学習の推進				
事業目的・内容	<p>●目的 図書館のない地域、図書館から遠い地域に住む市民のため、移動図書館車で地域を巡回し、図書館サービスを提供することで、市民の読書活動を推進する。 また、小学校・幼稚園・児童館等の配本場所に定期的に巡回することで、学校図書館に所蔵してない図書と出会う機会ができ、子どもの読書活動の推進につながる。</p> <p>●内容 移動図書館車3台で天草全域に実施している。 ①中央図書館…本渡・有明・倉岳・栖本・新和・五和地区 50箇所実施(車両:H25年度購入) ②御所浦図書館…横浦島を含む御所浦全域 29箇所実施(車両:H23年度天草町より移管) ③河浦図書館…河浦・牛深・天草地区 64箇所実施(車両:H23年度経済対策により購入)</p>							
取組実績	訪問箇所:143箇所 利用冊数:122,518冊 利用者数:11,277人							
決算額		指標:成果、活動の対象となるもの			評価			
平成30年度(千円)		指標名	単位	平成30年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況	
2,704 (一般 2,704)		利用冊数	冊	目標値				119,000
				実績値	122,518			
		利用者数	人	目標値	13,000	4	4	4
				実績値	11,277			
成果 自己評価	学校や施設へ一括して図書を配本する冊数(100冊～150冊)を増やしたことで、利用冊数の実績値は目標値を上回ったが利用者数は目標値に及ばなかった。					総合評価 (方向性)		
課題	図書館から遠距離にある地域に居住する市民への利便性と利用者拡大のため、移動図書館での訪問箇所を見直し、内容を充実して継続していく必要がある。個人利用者数が減少しているため、巡回している地区への周知方法を工夫し、リクエストの受付や巡回日のお知らせを行うなど、きめ細かいサービスの提供を行っていく必要がある。					継続		
方向性	移動図書館での利用が困難となる人(施設等の入所(院)者など)への、読書の機会を提供する巡回サービスの充実を図っていきたい。							

点検評価調査		整理番号	23			
事業名	読書活動推進事業			担当課係名	生涯学習課 中央図書館庶務係	
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	生涯学習の充実	施策計画 生涯学習の推進	
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	生涯学習の充実	施策 計画	生涯学習の推進		
事業目的・内容	<p>●目的 市民に読書の楽しさを理解してもらい、意欲的に読書に親しんでもらう機会を提供することで、市民の読書活動の推進を図る。また、読み聞かせボランティアの研修会等を実施することにより、図書館との連携を強化し、読み聞かせ活動を家庭や地域に広げる。</p> <p>●内容 天草市立中央図書館読書イベント、ボランティア交流会、童話発表会、アマクサライブラリーカフェ、古文書学習会及び巡回講座の開催を実施。</p>					
取組実績	<p>○天草市立中央図書館読書イベント…真珠まりこさんの「もったいないばあさんのおはなし会」を開催。 (開催数1回 参加者数123人)</p> <p>○ボランティア交流会…読み聞かせボランティアの交流とスキルアップを目的に開催。 (開催数1回 参加者数60人)</p> <p>○童話発表大会…童話や民話などを児童が発表。 (開催数1回 参加児童数30人、うち天草地方大会へ出場12人)</p> <p>○アマクサ・ライブラリー・カフェ…さまざまなジャンルのゲストを招へいし、年間4回開催。 (開催数4回 参加者数82人)</p> <p>○古文書学習会…天草の古文書を教材に学習会を開催し、天草の歴史研究家の育成に努めた。 (開催数11回 参加者数72人)の参加があった。</p> <p>○巡回講座…年間計画に基づき各学校等への読み聞かせ活動により、本に親しむ機会を提供。 (開催数25回 参加者数1,851人)</p>					
決算額	指標: 成果、活動の対象となるもの			評価		
平成30年度(千円)	指標名	単位	平成30年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
488 (一般 488)	図書館利用冊数	冊	目標値 420,000 実績値 421,357			
	図書館利用者数 (※来館者数)	人	目標値 100,000 実績値 95,818	4	4	4
成果 自己評価	図書館利用冊数は、ホームページの予約の増加や新刊図書の継続貸出が可能になったことや、読書イベント、ボランティア交流会、童話発表会、アマクサライブラリーカフェ、古文書学習会及び巡回講座を実施することにより、読書に関する意欲が高まり、一人当りの貸出数が増加した。利用冊数は目標値を上回ったが、利用者数は目標値に及ばなかった。				総合評価 (方向性)	
課題	テレビやインターネット等の普及により子どもたちの活字離れが進んでいることから中高生の利用は伸び悩んでいる。今後も家庭、地域、学校及び行政が連携協力して、読書活動を推進していく必要がある。また、利用者の登録を増やすため、広報やケーブルテレビなどを活用し周知の幅を広げていく必要がある。				継続	
方向性	令和2年4月からの複合施設の供用開始に向け「本との出会い 学びとやすらぎの場 図書館はすべての市民のひろば」を基本コンセプトとし、他部局との連携による新たな事業を展開し、読書活動の推進を図る。					

点検評価調書		整理番号	24				
事業名	生涯学習推進事業			担当課係名	生涯学習課 公民館係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	生涯学習の充実	施策計画 生涯学習の推進		
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	生涯学習の充実	施策 計画	生涯学習の推進			
事業目的・内容	<p>●目的 生涯学習の充実を図るため、市民に多様な学習機会の提供を行うとともに、学習情報の提供や学習相談の充実等の支援を行う。</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民全体に学習の機会を提供するため、各地区公民館単位で人権学習、家庭教育などの全体講座の開催。</li> <li>学習の機会を得にくい市民に対して、各地区に講師等を派遣し、健康づくり、消費生活などの地域講座の開催。</li> <li>講師として登録した市民を学習を希望される団体等に派遣して講座を行う生涯学習人材バンクの実施。</li> <li>天草Webの駅や紙媒体を活用し、講座の情報発信。</li> <li>講座受講者が学んだ成果を発表する場の提供。</li> </ul>						
取組実績	<p>○全体講座の開催(市民全体に対し、公民館単位で学習の機会の提供) 開催数55回 参加延人数3,544人</p> <p>○地域講座の開催(比較的学習の機会を得にくい市民に対し、身近な場所で学習の機会の提供) 開催数263回 参加延人数6,338人</p> <p>○市民の学習ニーズや要望に対応した講座の開催(生涯学習人材バンクを活用した講座の開催) 開催数20回 参加延人数568人</p> <p>講座開催数計338回。多様な学習の機会を述べ10,450人の市民の方に提供することができた。</p>						
決算額		指標: 成果、活動の対象となるもの			評価		
平成30年度(千円)		指標名	単位	平成30年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
2,024 (一般 2,024)		講座開催数	回	目標値			
				実績値	338		
		参加延人数	人	目標値	14,000		
				実績値	10,450		
成果 自己評価		<p>地区振興会等、関係団体と連携し、様々な講座を開催した。 講座の開催数においては、地区公民館の再編を行った平成25年度以降最も多く開催できた。 講座受講者から、グループで講座を受講したいとの要望が多く、生涯学習人材バンクを活用した講座開催数が、平成29年度7回から平成30年度20回と増加し、本事業が市民の学習意欲の向上につながっていると思われる。</p>				総合評価 (方向性)	
課題		<p>参加者の固定化した硬りが見られるため、年齢層や受講者のニーズに応じた新しい講座の開催に努める必要がある。 また、単なる受講だけに留まっている傾向であり、講座を受講することで得られる技能や地域で活かせることを明確に打ち出す必要があると思われる。</p>				見直して継続	
方向性		<p>令和2年4月からの複合施設の供用開始に向け、勤労青少年ホーム事業と一本化も視野に入れ見直して継続したい。</p>					

点検評価調書		整理番号	25					
事業名	勤労青少年ホーム事業			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係			
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	生涯学習の充実	施策計画	生涯学習の推進		
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	生涯学習の充実	施策 計画	生涯学習の推進				
事業目的・内容	<p>●目的 勤労青少年に対して、各種の相談に応じ、必要な指導を行い、レクリエーション、クラブ活動その他勤労の余暇に行われる活動のための便宜を供与する等、勤労青少年の福祉に関する事業を総合的に行う。</p> <p>●内容 ・教養講座、本渡地区公民館との共催講座の開催</p>							
取組実績	<p>・教養講座、本渡地区公民館との共催講座の開催 教養講座 ①料理講座 ②ペン字講座 ③コンディショニング講座 ④浴衣着付け講座 ⑤ヨガ講座 ⑥着物着付け講座 受講生延べ719人</p> <p>本渡地区公民館との共催講座 ①みんなの子育て講座 ②プロに学ぶ！ 実践 救命講座 ③ボランティア講座 受講生延べ68人</p> <p style="text-align: right;">合計 延べ787人</p>							
決算額		指標: 成果、活動の対象となるもの			評価			
平成30年度(千円)		指標名	単位	平成30年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況	
490 (一般 490)		開設講座数	講座	目標値				10
				実績値	9			
		受講者数	人	目標値	900	4	4	4
				実績値	787			
成果 自己評価	公民館と連携した勤労青少年ホーム講座を開設したことで、講座の選択肢が増え、個人の教養講座のみならず、ボランティア活動など地域社会への貢献を考える一助となった。					総合評価 (方向性)		
課題	若者に魅力ある講座を模索しているが、個人の趣味の多様化や、社会の様々な情報が簡単に手に入る現状では、勤労青少年ホームの講座の参加増につながる「魅力」を見い出すことができない。参加した若者同士を結び付ける組織づくりを試みるも、敬遠される傾向にあるため、事業等での就業時間後の研修や学習会など既存の組織・団体に講座の参加や勤労青少年ホームの利用を呼び掛ける必要がある。					見直して継続		
方向性	令和2年4月からの複合施設の供用開始に向け、若者に特化した講座の在り方を見直し、青少年育成事業を推進していく。							

点検評価調書		整理番号	26					
事業名	社会を明るくする運動・教育力活性化推進事業			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係			
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	生涯学習の充実	施策計画	生涯学習の推進		
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	生涯学習の充実	施策 計画	生涯学習の推進				
事業目的・内容	<p>●目的 社会を明るくする運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動であり、青少年の非行防止を目的とする。</p> <p>また、教育関係者や保護者をはじめ全ての市民の間で本市の教育の現状について理解を深めるとともに、これからの教育のあり方や方向性を見定める機会とし、学校教育や社会教育をはじめとするすべての分野の教育力の活性化を推進することを目的とする。</p> <p>●内容 ○ポスター、横断幕、のぼり旗等の掲示や設置による広報活動やチラシ、啓発用品の配布による街頭啓発活動の実施。 ○高校生と一般市民からの標語及び小中学校児童生徒からの作文を募集し、推進大会で表彰や作文の発表 ○“社会を明るくする運動”青少年健全育成大会(7月)・教育力活性化推進大会(2月)の開催</p>							
取組実績	<p>○ポスター、横断幕、のぼり旗等の掲示や設置による広報活動やチラシ、啓発用品の配布による街頭啓発活動の実施。 ○高校生と一般市民からの標語及び小中学校児童生徒からの作文を募集し、推進大会で表彰や作文の発表 ○“社会を明るくする運動”青少年健全育成大会と教育力活性化推進大会を分けて開催</p> <p>“社会を明るくする運動”青少年健全育成大会 平成30年7月7日(土)(悪天候により中止)</p> <p>教育力活性化推進大会 平成31年2月2日(土) 参加者数400人 ・オープニング 天草市立本渡中学校吹奏楽団 ・実践発表 本渡北小学校、倉岳小学校「地域学校協働活動の取組みについて」  栖本小学校「読書活動推進の取組みについて」 ・講演 演題「日本語はおもしろい」 講師 杏林大学教授 金田一 秀穂氏</p>							
決算額		指標: 成果、活動の対象となるもの			評価			
平成30年度(千円)		指標名	単位	平成30年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況	
1,054 (一般 1,054)		社会を明るくする運動 標語、作文応募数	点	目標値				1,000
				実績値	725			
		大会参加者数 (実績は1大会分)	人	目標値	500	4	4	4
				実績値	400			
成果 自己評価	社会を明るくする運動については、作文や標語の募集を行い、保護司会と連携して啓発活動に取り組むことができた。また、教育力活性化推進大会は、参加した市民や教育関係者が、各々の活動の参考となり、教育意欲の向上につながった。					総合評価 (方向性)		
課題	大会内容については、参加した教育関係者や保護者、市民の活動の参考になるような内容を企画していく必要がある。					継続		
方向性	参加した教育関係者や保護者、市民の活動の参考になるような内容を企画することで活動の輪が広がるよう継続する。							

点検評価調書		整理番号	27					
事業名	放課後子ども教室推進事業			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係			
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	生涯学習の充実	施策計画	生涯学習の推進		
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	生涯学習の充実	施策 計画	生涯学習の推進				
事業目的・内容	<p>●目的 放課後や週末等に学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続的に提供することで地域社会全体の教育力の向上を図る。</p> <p>●内容 地域のコーディネーターが中心となって住民と学校が連携して、放課後等の子どもたちの居場所を確保するとともに交流活動や学習機会を提供する。</p>							
取組実績	<p>実施校数 1校 有明小学校(つわの花)</p> <p>○利用者数 350人 開催数 68日 コーディネーター 1人 サポーター 7人</p>							
決算額		指標: 成果、活動の対象となるもの			評価			
平成30年度(千円)		指標名	単位	平成30年度	上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況	
214 (一般 214)		実施校数	校	目標値				2
				実績値	1			
		参加者数	人	目標値	1,500	3	3	3
				実績値	350			
成果 自己評価	<p>1校については、継続して実施でき、放課後等の子どもたちの居場所を確保するとともに、遊びや学習機会を提供することができた。</p> <p>継続予定の本渡東小学校については、学校の統合により地域の実施体制が整わず、実施することができなかつたため、目標値を下回る結果となった。</p>					総合評価 (方向性)		
課題	<p>「放課後児童クラブ」の配置等を見ながら検討する必要がある。</p> <p>また、放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体型についても考えていく必要がある。</p>					見直して継続		
方向性	放課後総合プランの推進事業の取り組みとして、子育て支援課と連携を図りながら放課後児童クラブと放課後子ども教室が、連携型として実施できるように推進していく。							

点検評価調査		整理番号	28				
事業名	青少年健全育成事業			担当課係名	生涯学習課 生涯学習推進係		
第2次総合計画 施策体系区分	経営方針	人が輝く活力あるまちづくり	政策	生涯学習の充実	施策計画	生涯学習の推進	
教育振興 基本計画	政策 (基本方針)	生涯学習の充実	施策 計画	生涯学習の推進			
事業目的・内容	<p>●目的 青少年同士の交流を促し、自然とのふれあいなどの豊かな体験の場を創出すると共に、ボランティア等の社会参加型活動への参加を支援する。 地域の伝統的事業を体験して歴史を学ぶことで、ふるさとの魅力を再発見し、郷土を愛する心を醸成できる。また、地元の青年団やお年寄りとの異世代交流を行うことにより社会性や自立性が身につく等の大きな成果がある。</p> <p>●内容 ・青少年育成事業補助金 青少年を対象とした各種体験活動及び交流活動を行う事業に対し、補助金を交付する。(総事業費が10万円以上の事業に対して、2分の1を補助。) 【地区限定事業】補助対象経費に2分の1を乗じた額とし、150,000円を上限とする。 【市内全域事業】補助対象経費に2分の1を乗じた額とし、200,000円を上限とする。</p>						
取組実績	<p>○実施団体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般社団法人天草本渡青年会議所「天草んハンター ～仲間と共に～」参加者数 24人</li> <li>竜洞山みどりの村運営協議会「2018 夏あまくさ自然学校」参加者数 53人</li> <li>栖本地区振興会「栖本町寺小屋体験学習」参加者数 13人</li> <li>天草市立本町小学校PTA「豊田市立矢並小学校との交流活動」参加者数 24人</li> <li>御所浦町・産山村海山交流活動実行委員会「御所浦小学校・産山小学校海山交流活動」参加者数 42人</li> <li>熊本県立天草高等学校「土坪高等学校親善交流会」参加者数 12人</li> </ul>						
		指標: 成果、活動の対象となるもの			評 価		
平成30年度(千円)	指標名	単位	平成30年度		上位の施策 (目標)への 貢献	市関与の 必要性	達成状況
892 (一般 892)	補助金申請団体数	団体	目標値	10			
			実績値	6			
	参加者数	人	目標値	320	4	4	3
			実績値	168			
成 果 自己評価	<p>地域の伝統的事業の体験や歴史学習によりふるさとの良さを再発見することで、ふるさとを愛する子どもたちの育成につながった。また、日常生活では体験することの少ない自然体験や他地域の子どもたちとの異年齢交流、外国文化との交流を行うことにより、感謝の気持ちや思いやりの大切さを感じたり、ふるさとの素晴らしさを知るなど、青少年の健全育成に大きな成果があった。 今年度は、新規の申請団体の増につながらず、目標には達しなかった。</p>					総合評価 (方向性)	
課 題	<p>補助制度の申請方法について、平成28年度に見直しを行ったが、申請団体の増加につながっていない。 補助制度の周知方法について、学校や子ども会、地区振興会など更に充実強化を図り事業を促していく必要がある。</p>					見直して継続	
方 向 性	<p>市民団体等を主体とした青少年育成活動をさらに活性化するために、補助基準の見直しなどを検討し、新規の申請団体の青少年の健全育成につなげられるよう制度の周知、啓発に力を入れていきたい。</p>						